

# ふれあい通信

# いずみ

平成25年1月16日発行

15号

発行  
 社会福祉法人 いずみ会  
 秋田市泉菅野二丁目17番11号  
 TEL.018-896-5880



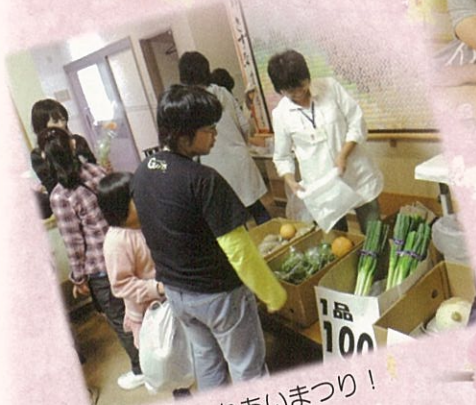
新しく広くなりました！



リンデンバウムいずみ  
 デイサービスセンター  
 新浴室棟外観



デザートをつくりました！



地域ふれあいまつり！



えほんだ〜いすき☆



泉学区町内会連合会

副会長 三浦 眞六

もしもの時は

「泉健康クラブ男の栄養料理教室」は、発足して5年、男性20人、女性4人で活動しています。

通常の開催では、秋田保健所の保健師・栄養士を講師に健康維持の心構えと、食生活改善についての講義、それを具体化したレシピの説明を聞いてから調理を始めます。

10月初め泉健康クラブ恒例の遠足で、一つ森公園で集めた枯れ木を竈で燃やし、広場に大きなごさを敷きました。参加者がウォーキングを楽しむ間、料理教室の面々は屋外調理でみんなの昼食を作ります。今回の料理は非常時を想定した調理体験です。三陸産秋刀魚を焼き、飯ごうと土鍋でご飯をたきました。40数名が車座になって座り、人数分に足りない料理や焦げ気味の秋刀魚も隣同士譲り合って食べました。エプロン姿でサービスする男性達に、女性達から恐縮との声が出ると、「こんなサービス家では滅多にしない」と言いながら、素早くデザート用の果物を準備します。

この教室は、「もしもの時は」の思いから始まりましたが、お互いの結び付きが深まるにつれ、調理以外の相乗効果もあがっています。



新しい浴室棟が完成！

リンデンバウムいずみデイサービスセンター

当センターでは、利用者の皆様への一層のサービス向上のため、昨年、浴室棟増築やトイレ増設などの工事をすすめ、10月下旬に完成しました。一般浴槽や脱衣所が拡充され、また、寝た姿勢や車椅子に乗ったまま入浴できる特殊浴槽が新たに設置されたことにより、従来の浴室と比べ3倍の広さとなりました。更に、トイレも5箇所と増設され、利用者・家族の皆様からは、浴室が新しく広くなったこと、個々の状況に合った入浴サービスを受けられるようになったことなど、大変好評を得ております。



デイサービスセンター新浴室



季節を楽しむ「りんご湯」

特別養護老人ホームリンデンバウムいずみ



目に鮮やかな  
真っ赤なりんご  
今日は温泉気分だね！

特養では、11月の下旬に「季節を感じながら入浴を楽しむ」ことを目的に「りんご湯」を実施しました。

湯船に浮かぶりんごに利用者の皆さんは、「かわいいね」「おいしそうだね」「りんごの時期だね」など、思い思いにお話されておりました。このような、生活の中での何気ない楽しみを大切に、今後も職員一同励んでまいります。



第1回 家族懇談会

平成24年11月25日(日)にリンデンバウム・ウエルビユーいずみデイサービス合同で、初の家族懇談会を開催しました。リンデンバウムの増築した浴室・浴槽の施設見学、施設の方針、利用者様のデイでの過ごし方等を説明させていただきました。懇談会では、家族同士の交流・職員との交流を望んでおり、時間のとり方・説明の仕方について今後検討しながら、定期的に「支えあう為の懇談会」を開催して、利用者・家族の皆様のご要望にこたえて参ります。



梨・ぶどう狩り

リンデンバウムいずみデイサービスセンター

10月上旬、今回初めて、梨・ぶどう狩りへ2週間かけて天王の植村農園にでかけました。農園の協力のもと見学したり、試食したり、お土産を買ったりして利用者の皆さん、職員一同楽しく過ごすことができました。



初めての企画で心配もありましたが「おいしい」「楽しい」「来年もまた行きたい」と大成功に終わることができました。今後も思い出に残る行事を企画していきたいと思っております。



やっぱり  
とれたては  
美味しいね

火力発電所って  
こうなってるんだ！

ウエルビユーいずみ老人デイサービスセンター

今年も施設見学を実施し、秋田火力発電所へと出掛けてきました。少人数でじっくりと工場内を見てまわり、2年に1回という貴重な定期点検の様子も間近でみることが出来ました。特に男性利用者からは、たくさんの質問が出て案内の担当者も驚いていました。地震で停電を経験した私たちがとって発電所の必要性を改めて感じました。原子力発電が見直され電力事情が目まぐるしくこの時期に、火力発電所という施設を見学できた事は、非常に貴重な思い出となりました。





こちらへどうぞ！  
ほくがエスコートします。



首飾り  
似合っ  
ますね。

## だれにだって素敵な日

ウエルビユーいずみこども園

保育園で毎月行っている誕生会では、3階支援ハウスに住んでいる、おじいさんおばあさんも大切な主役です。

事前に、その月にお誕生日を迎える方に、子どもたちが招待状を持っていくと、とても喜んでくださいます。

誕生会当日のエスコート役は、つばめ組(年長組)です。園児が手を差し出すと、おじいさんおばあさんは優しく握り返してくれ、手をつなぎゆつくり歩く姿からは、お互いに相手を思いやる気持ちがよく伝わってきます。

誕生会では、質問コーナーもあり、一つ一つ丁寧に答えてくれる言葉を子どもたちも興味津々に聞いています。

誕生会は、喜びや優しさ・思いやりをみんなで感じあえる心待ちにしている行事です。

## 特集 短歌 優秀作品

平成24年度「いずみ会四季のうた(秋・冬)編」(全158点から)

祝 優秀賞

テレビより 皆で喋れる  
喜びを、デイで教わり  
生き甲斐となり

ウエルビユー老人デイサービスセンター利用者 武田忠雄さん

祝 優秀賞

木枯らしが 木の葉を転がし  
かさこそと 冬のうわさを  
囁き始める

リンデンバウム特別養護老人ホーム職員 山田康則さん

祝 優秀賞

ストレスは 我が敵なりと  
迎え撃つ 雪玉投げて  
めまい紛らす

ウエルビユー生活支援ハウス入居者 大島キミさん

祝 佳作

悩みなき 人はいないと  
君は言う リウマチの手で  
玉ネギをむく

リンデンバウムケアプラザセンター職員 小野紀子さん

祝 佳作

青空に 園児の声が  
響きあい ウエルビユーにも  
秋のびよる

障害福祉サービスセンター利用者保護者 小野美智子さん

祝 佳作

モサモサと 白い結晶  
降りつもり 汗をかきかき  
雪よせする日々

ウエルビユー老人デイサービスセンター職員 須田咲子さん

祝 佳作

冬の空 見上げた先に  
かがやくは 希望にみちた  
星のまたたき

ウエルビユー老人デイサービスセンター職員 福田裕一さん

祝 佳作

冬の使者 雪とともに  
舞いおりる 薄化粧の地  
白き華咲く

ウエルビユーいずみ厨房職員 千田美由紀さん

祝 チャイルド賞

赤とんぼ 僕らといっしょに  
遊んでる 落ち葉も踊る  
秋の公園

子ども園児 大槻明利さん

祝 チャイルド賞

北風に 向って走る  
子どもらの 姿を追うが  
離れるばかり

子ども園職員 菊池由美さん

祝 チャイルド賞

木枯らしに 負けじと遊ぶ  
この子らの パワーをあびて  
我若がえり

子ども園職員 佐々木まさ子さん

選者詠

新装の 浴室設備に  
安どして デイサービスに  
行く気いや増す

小野 晋作氏



永年勤続者表彰



千家生花師 範野呂翠亭さん

社会福祉法人いずみ会は、平成12年11月に発足しました。この度10年以上勤務された43名の職員を永年勤続表彰いたしました。この人数はいずみ会全職員の22%にあたりま



す。全国社会福祉協議会の調査によりますと職員に占める勤続10年以上の全国平均は14%という統計があります。表彰された職員は、いずみ会の理念とその精神を実現させる原動力であり、まさにいずみ会への存在となっております。



永年勤続表彰状

頑張った成果の最優秀賞

ウエルビユーいずみ障害福祉サービスセンター

祝

最優秀賞

秋田市緑のカーテン写真コンテスト



節電対策とやりがいを持った活動の両立、そんな思いで始めたのが、自立訓練事業でのグリーンカーテン作りでした。5月中旬、2階のテラスにアサガオとゴーヤの種を植えたのを皮切りに、ヒマワリやキュウリと種類を増やし、8月には3階の生活支援ハウスまで届く、まさに生い茂るカーテンとなりました。そんなおり、秋田市緑のカーテン写真コンテストがあるところ、このを聞き、応募したところ、見事最優秀賞を受賞することができました。皆で、毎日、暑い中欠かさず水やりを頑張った成果だと大喜びしました。今後このような達成感を味わえ、自立を促せるような活動を取り入れていきたいと思えます。



「がじゅまる号」が来た!

秋田県の「障がい者自立支援基盤事業」補助金で、喫茶及び工房「がじゅまるの木」の配達専用車両を購入していただきました。お客様と顔の見えるつながりを大切にフットワークよく、美味しいカレーパンやシフォンケーキをお届けいたします。



電話一本でお気軽に利用してください。  
電話 (896) 6277

つばめの親子

リンデンバウムいずみの玄関横に5月中旬頃つばめが巣をつくりました。竿燈の練習の時、親がエサを運ぶ姿が目撃されています。カラスに狙われた時の親ツバメの威嚇はものすごくて、カラスもあきらめて飛び去りました。8月20日に子ツバメも巣から飛び立ち親離れしようとしています。その瞬間をカメラにおさめました。



♪ ラジオ歌謡をうたいましょう ♪

泉地区民生児童委員協議会・地域包括支援センターリンデンバウムいずみと協力し、「ラジオ歌謡をうたいましょう」の会を開催しました。「日本ラジオ歌謡研究会」工藤雄一会長さんをお招きしてラジオ歌謡のすばらしさを教えていただきました。福祉のまち泉をめざして、町内の47名のかつがと一緒になを響かせ心を通わすことができました。



編集後記

永年勤続者表彰式に出席し、同期の職員がほとんど辞めることなく継続して勤務していることに感激しました。また、職員含め皆様にとって、より良い施設になる様、私達同期の職員が率先し、連携しあって行かなければならないことも感じました。3つの理念を念頭に置き、より明るい笑顔で皆様と過ごせるよう日々努め、更に充実した節目を迎えたいと思えます。

木曾弘樹